

7月の電話相談・来室相談から ～ 弱音を吐ける教師集団 ～



先日、不登校だった生徒が来室し、進学先の高校で無遅刻・無欠席で精勤賞を受けたことを語っていきました。シャイニングクラス卒業生が元気に登校している様子を保護者が話していかれたり、風の便りに聞こえてきたりすると嬉しくなります。

一方、希望を持って進学したのにうまく適応できず、進路変更の相談に訪れる保護者の方もおられます。

さて、新人の先生の話です。金曜日の夕方、Cさんのお母さんが来校されました。娘が学校に行きたくないというので困っている。夜、泣いたりする。友だちもいないようで、学校でも笑ったことがないようだ。どうしたらいいのでしょうか。先生は同僚に相談しました。「これから私が毎日、Cさんの様子をお母さんにお知らせしたほうがいいのでしょうか。」すると同僚の先生は「毎日お知らせする必要はないと思いますが、後で相談しましょう。」との応え。先生はCさんの教室での表情を観察していたのはもちろん、中間休みにも校庭での姿を追っていました。

保護者から「うちの子が学校に行きたくないといっている。」という訴えがあると、担任は責任やプレッシャーで焦ります。なんか自分のやり方が悪いんじゃないかと、イジメを見逃しているんじゃないかとか……。同僚のよかれと思ってしたアドバイスがかえって相手を追い込むこともあります。このケースでは相談できる先輩教師の存在と適切なアドバイスもあり、お母さんの不安が解消されました。職場には経験の浅い教師もいます。悩みを一人で抱え込むことなく、相談できる教師集団、弱音を吐ける教師集団、頑張りを互いに認め合える教師集団であってほしいと思っています。いいアドバイスができなくても一生懸命聴いて、共感できれば、それが一番いい形の援助になるのではないのでしょうか。

「シャイニングクラスから学校へ」



シャイニングクラス通級生の在籍校へお邪魔し、校長先生のお話を聞く機会がありました。訪問するなり、当室にはとても感謝しておられ、恐縮してしまいました。年度始めから生徒たちの登校も定期的でしたので、その受入れのご苦労や今後卒業までを見通した考え等、聞かせていただきました。

登校に漕ぎ着けている3年生をどのように校内で受け入れていくかが今後登校回数を増やしていく上で大きなポイントになると力説していました。登校が定期的が続いている今こそ体制を整え、居心地よくしかも適度な刺激で彼らの気持ちを如何に学校側に引きつけていくか、度合いを見極めながら……。とも。

校内体制については以下のようなものでした。別室学習指導員の配属があり登校時の学習を担当していること。学習のみならず学年団の意向を受けての情報伝達や相談活動にも配慮していること。適応支援委員会を定期的で開催し、現状分析とともに有効な対応策についても検討していること。そして、本人・家庭との太いパイプ役は何と言っても担任であることには変わりはないと強調されたことに、深い安堵感を覚えました。

これからは受け入れのための教室の土壌づくりや集団の高まりを基に、登校回数を増やし教室への出席も叶えていきたい、との思いでした。さらに、彼らの卒業を見据えた短期未来像を如何につくっていくか、そのための自己選択・自己決定の場をどのように計画していくか、受けてきたばかりの夏の特別支援教育

講座研修を是非活かしていきたいですという嬉しいお話も聞きました。教室復帰に向け、さらに背中を押していこうと決意し、学校を後にしました。
(訪問者 教育相談員 林)

「夏を制して秋を迎えよう！」

例年以上の暑さが続いています。通級生たちはフーフー言いながら夏を乗り切りつつあります。先月後半の体験活動は得意の(?)絵手紙づくりでした。2回目の経験という生徒もいますが、それぞれに独創的なしなかも暑中見舞いにぴったりの作品を仕上げることができました。これを受け取った人は本当にうれしいだろうなあ、と想像しながら・・・。数日後返信が届いたとか、メールがきたと、にこにこしていました。このように人とのつながりや認められるという実感の積み上げが大事だ、とつくづく思いました。

今月上旬の活動は、真夏日の中のエダマメの収穫、そして販売でした。「疲れるだろうな。」とか、「販売は気が重いなあ。」とか、率直な気持ちをもらしていた生徒たち、やはり負担感は大きかったに違いありません。でも木陰で作業する協力体制や手際の良さにはびっくりでした。そして残した感想が「袋詰め途中から500gぴったりの重さになってきて驚いた。」、販売の際、目を見てあいさつができた。」「植え付けから収穫・販売までやりがいがあった。」等々。この体験活動のねらいはほぼ達成、そしてねらってはいない暑さへの耐性もプラスされた体験となりました。夏休み中の学校の課題や進路を意識した学習は通級生といえども同様です。そこで、今月上旬まで自主学習を組みました。締め切りから逆算してせつせと宿題をこなしたり、受験生としてのまとめの学習に力を注ぐ生徒たち。まさしく夏を制して秋口に向けたステップアップの時期を過ごしたと言えます。



エダマメの収穫作業(8月6日)



作成した「絵手紙」の題材は金魚・風鈴・花火・蛍・百日草など様々



たと言えます。

「夏を制する者は受験を制す。」この時期繰り返し強調される言葉です。通級生が鍛えられたこの夏の結果は、涼しさとともにどのような変化をもたらすのでしょうか。楽しみにしたいと思います。

気楽に話し合う会 8月22日(金)
「わくわく新庄」 午後7時～9時

8月の活動 シャイニングクラス在籍 5名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 数学、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 理科、体育 ○ 木曜日 体験活動(月2回)

◆ 体験活動⑦ 8月6日(水)
「エダマメの収穫・販売」



収穫したエダマメは12.5kg
市役所職員の皆さんに購入
していただきました。

◆ 体験活動⑧ 8月28日(木)
「大根の種蒔き」

あ と が き

「親の職業を知らない子どもたち」の見出しで、15歳の生徒に親の職業を尋ねた結果では、父親の職業の不詳率が17.3%で世界一であったことが報じられていました。9月には「職場体験(中3生徒対象)」を計画している学校があります。着々と準備が進められているようです。安全面に配慮し受け入れてくれる事業所に感謝し、子どもたちには、実際に働く体験を通して、地域における人とのかかわりを学び、また、望ましい勤労観や職業観を身につけてほしいものです。

教育相談連絡先

- ダイアルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室(シャイニング)
TEL 22-2111
(内線 445、448)
林、小野、鈴木が担当です。